



2024/10/1 厚生館保育園

湿度が高く、むしむしとうとうしい日が続いています。9月の後半からは朝、晩が涼しくなり暑さも一段落！秋らしい季節になってきました。

もうすぐスマイルフェスティバル、今年はおひさま組も自由参加、もも組、はと組の参加で開催します。天気が気になるところですが、大好きな家族の方と参加できることを楽しみにしている子ども達です。

9月の中旬以降からインフルエンザ A 型が大流行し、一時下火になっていた手足口病も流行しました。その他にも溶連菌感染症、新型コロナウイルス、胃腸炎、水痘が確認されました。

現在、収束には向かっていますが、季節の変わり目で体調を崩すお子さんが多くなる時期です。園でも感染予防対策はしていますが、ご家庭でも生活リズムを整え、感染予防をしましょう。

9月の感染症

インフルエンザ A 型：13 名 手足口病：20 名 溶連菌感染症：5 名
胃腸炎、コロナ、水痘：各 1 名

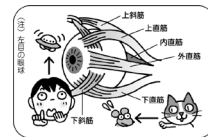
・・・10月10日は目の愛護デー・・・

目について、どれだけのことを知っていますか？今回は目についての「へー」の話を紹介します。

★自分で見たいところを見ると、顔も動かしますが目玉も動かします。

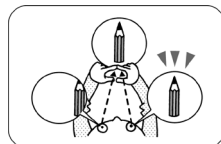
目玉を動かす仕組みは目玉が 6 本の筋肉に支えられているからです。上下・左右それぞれ動かす筋肉 4 本、斜めに動かす、回転させる筋肉が 2 本ありあちこちと動かせるのです。

液晶の画面を見続けると目が疲れますね。手足の筋肉が疲れるのと同じで、目の筋肉も緊張していると疲れるのです。



★目にも左利き、右利きがあります。

簡単にわかるのでやってみましょう。まず両手の人差指と親指で輪を作り、腕を伸ばします。輪の中に目標物の一つを入れて、両目で見ます。次に片方ずつ目をつぶります。輪の中心に納まっている方が利き目です。



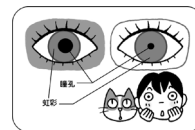
★白目の真ん中にある茶色い部分を「虹彩」その真ん中の黒い部分を「瞳孔」と言います。

瞳孔は約 2～6mm の間の大きさで、光によって小さくなったり大きくなったりします。

瞳孔自体が大きくなったり、小さくなったりしているのではなく周りにある虹彩が伸びたり縮んだり

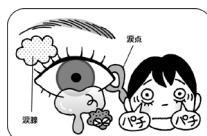
して大きさを変えています。

虹彩をよく見ると模様が見え、その模様が一人ひとり微妙に違い同じパターンを持つ人がいないと言われています



★涙はどこで作られているのでしょうか？

涙を作っているのは眉毛の目尻側の下あたりにある涙腺というところですよ。作られた涙を目に運ぶのは皆さんが無意識にやっているまばたきです。まばたきは1分間に約20~30回するといわれています。涙の原料は血液で、目に酸素やえいようをあたえています。また、目に入ったゴミや雑菌も洗い流してくれます。



10月保健行事

3日(木) 身体測定(2~5才児)

4日(金) 身体測定(0,1才児)

7日(月) 0才児健診

11日、18日、25日(金)

地域ベビーマッサージ・育児相談

薄着の習慣は「秋」からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたりしますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする

大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

◆9月にはと組、排泄後のおしりの拭き方、もも組プライベートゾーンについて話をしました。

はと組は、ストッキングにボールを2個入れておしりの形を作り、椅子に括り付けてペーパーでおしりを拭き、その後、自分のウンチを確認して流す過程を演じました。子ども達3人に演じてもらい、できなかった子ども達には、その椅子をクラスに持って行ってから、やっていない子どもが演じたそうです。最後の自分のウンチを見て確認をするまでをちゃんとやっていたと、担任が聞き、話がちゃんと伝わっていることがわかり、笑ってしまいました。

もも組の「プライベートゾーンの話」は、赤ちゃんの絵を見せて男の子と女の子はどこで区別をするのか、水着で隠れる場所がプライベートゾーンであること、大事なところで自分で守らなければならないところなどを話しをしました。